

農産物の安全性確保と 高品質化のための最新技術

安全で品質が高く地球環境にも優しい農産物の供給に対する強い要請に応えるためには、化学薬剤等の使用を抑えた生産・流通技術の導入が必要となっています。

そこで今回の研究例会では、安全性確保と高品質化のための最新技術のうち、農薬のポジティブリスト制の導入などにより重要性が益々高まっている残留農薬の一斉分析、臭化メチルに替わる新たな殺虫技術として注目される高圧二酸化炭素による殺虫、多様な機能を持つ植物ホルモンエチレンによるバレイショ萌芽抑制、オゾンガスを用いた超微細気泡による殺菌技術について、第一人者にご講演頂きます。奮ってご参加頂きますよう、ご案内申し上げます。

<第119回研究例会>

1. 日 時：平成20年7月31日（木） 13:15～17:00
2. 会 場：南青山会館 3・4号会議室（代表電話:03-3406-1365）
〒107-0062 港区南青山5-7-10
（東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線表参道駅下車 出口B-3）
3. 内 容：テーマ：「農産物の安全性確保と高品質化のための最新技術」
 - 13:15～14:05 1. 農薬の一斉分析について
農林水産消費安全技術センター本部 主任調査官 小島 一良
 - 14:05～14:50 2. 農薬登録された高圧二酸化炭素によるクリシギゾウムシの殺虫
(独)農研機構食品総合研究所 食品害虫ユニット長 宮ノ下 明大
 - 14:50～15:05 (休憩)
 - 15:05～15:50 3. 植物ホルモン - エチレンによるバレイショの萌芽抑制
酪農学園大学 教授 樋元 淳一
 - 15:55～16:40 4. オゾンナノバブルによる殺菌技術
ネイチャーズ(株) 松村 栄治
- 司会：事務局長 椎名 武夫
4. 参加費：会員：3,000円(資料代)、 非会員：20,000円(参加費+資料代)
5. 定 員：100名

<お問い合わせ先>

農産物流通技術研究会事務局：山本千尋

TEL: 029-838-8027

FAX: 029-838-7996

E-mail: noryu-giken@ml.affrc.go.jp

ホームページ：

<http://noryu.ac.affrc.go.jp/>

〒305-8642

茨城県つくば市観音台2-1-12

(独)農業・食品産業技術総合研究機構
食品総合研究所 流通工学ユニット内



<会場周辺図> 表参道駅下車 出口B-3